

平成27年12月17日

宗像市議会

議長 吉田 益美 様

予算第1特別委員会

委員長 杉下 啓恵

委員会審査報告書

本委員会に付託された事件の審査結果を宗像市議会会議規則第110条の規定により報告します。

記

第110号議案 平成27年度宗像市一般会計補正予算(第3号)について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4億2,238万3千円を増額し、補正後の総額をそれぞれ345億6,614万4千円とするとともに、繰越明許費、債務負担行為及び地方債の補正を行うものである。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

1 歳入

- (1) 固定資産税の増額は、評価替えに伴う家屋の減価分について、過去の実績による推計よりも減少分が少なかったことによるものである。
- (2) 消防施設費の財源として有利であるため、公共事業等債、防災対策事業債、及び国の消防施設整備費補助金を減額し、緊急防災・減災事業債を増額する。

2 歳出

- (1) 障害者福祉費は、障害者サービス事業者の増に伴い利用者数が増加したため、扶助費が2億300万円増額。
- (2) 生活保護扶助費は、被保護者数が当初の見込みほど伸びなかったため生活扶助費が3,000万円の減額となっているが、医療扶助費が5,259万4千円の増額となっている。
- (3) 未熟児養育医療給付金および妊産婦健診審査委託費の増額は、ともに対象者の増加によるもの。未熟児養育医療給付金は、当初15件で予算を組んでいたが、今回12件増の27件と見込んで増額している。
- (4) 漁港整備事業費の増額は、県補助事業として補助率が引き上げられたので、鐘崎漁港の防護柵の整備、消波ブロックの移設、用地整備を行うもの。
- (5) 中小企業融資助成事業費は、市内中小企業及び新規創業者の申し込み件数の増加によるものである。なお、小口事業資金保証料補助金については、現在、運転資金での借り入れより、設備投資での借り入れの方が増えている。
- (6) 中学校教育振興費は、教科書改訂に伴う指導書を購入するため、1,683万9千円増額している。この指導書の購入には、市の一般財源を充てる。
- (7) 中学校就学援助費の増額は、対象生徒数の増加に伴うものである。なお、対象児童・生徒数は、この10年間で小学校・中学校とも倍増している。
- (8) 人件費は、時間外手当及び休日手当の増額が2,601万1千円、10月からの共済費の標準報酬移行に伴う増額が694万円である。

3 繰越明許費

東郷駅前広場整備事業は、一部地権者の用地交渉に伴う工事発注の遅れや、JR九州等との協議に時間を要しており、年度内に工事完了が見込めないため繰り越しを行うもの。北口広場の整備は平成28年度の完了を目指している。

4 債務負担行為

予防接種委託費、妊婦健診委託費、がん検診委託費、及び基本健診・節目健診委託費は、契約までに関係機関との調整や協議に多大な時間を要し、契約内容が市民の生命に関するリスク管理を伴うことから、前年度末までに契約手続きを完了しておく必要があるため、今年度から債務負担行為に計上している。

【審査結果】

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。